



当別町エネチャレンジ (町民節電所) 事業 に参加しましょう！

「省エネ・節電」に取り組んで
電気料金を削減しましょう！



当別町 エネチャレンジ



★当別町エネチャレンジ(町民節電所)事業とは！？

各家庭の節電の取り組みや子どもたちの日々の省エネ行動など、皆さんの創意工夫による省エネ・節電のアイデアを募集し、実践結果を広く公表することで、町内の省エネの取り組みを進めています！

★チャレンジ内容(応募内容)

各家庭の10月分から12月分の電力使用量の合計を平成30年と令和元年で比較し、その削減量を競います。電力使用量は、電力会社からの検針票に記載されている電力使用量とします。

★チャレンジ期間

令和元年10月分から12月分の電力検針期間

★応募方法

役場3階エネルギー推進室窓口または太美出張所に設置している応募用紙に必要な事項を記入の上、「今年と前年の10月分から12月分の検針票の写し」を添付し持参、郵送、FAXまたはメールで応募してください。応募用紙は町のホームページからもダウンロードできます。なお、前年分の電力使用量が今年の検針票に記載されている場合は、前年分の検針票の添付は必要ありません。

★その他

※電力検針票について…

検針日等には多少のばらつきがありますが、検針票の10月分とは「9月中旬から10月中旬頃」の電気料金になり、10月分の検針票は10月中旬頃に電力会社からお知らせがあります。詳しくは、過去の検針票を確認いただくか、電力会社にお問い合わせください。

★応募締切

令和2年1月17日(金)まで

★表彰・記念品贈呈等

電力削減量が最も多い方を「最優秀賞」、2番・3番目に多い方を「優秀賞」としてそれぞれ記念品「当別町地産地消セット」を贈呈！ また、応募者の中から抽選で30名に「エネチャレンジ賞」として「当別玄米リゾットセット」を贈呈します。

★応募先・問合せ

エネルギー推進室エネルギー推進係

(☎ 27 - 5089/FAX23 - 3206/E-mail:energy@town.tobetsu.hokkaido.jp)

家庭で省エネ・
節電を実践！



検針票で電力使用量を確認し、
応募用紙の実施報告書に記入！

	電力使用量 (kWh)	
	今年	去年
10月分	80	100
11月分	100	150
12月分	150	200
合計	330	450
昨年よりも120kWh削減！		

締め切りまでに
実施報告書を提出。
削減量に応じて
記念品ゲット！



※検針期間は検針日によって前後しますが、10月分であれば9月中旬から10月中旬頃です。

※昨年の電力使用量は、今年の検針票に「前年同月分」として記載されている場合があります。

ホットな話題大募集！ 広報広聴係 ☎ 23 - 3069

大会成績や身近な話題、地域の取り組みなど
皆さんからの情報提供をお待ちしています。

大会成績や地域貢献 etc.

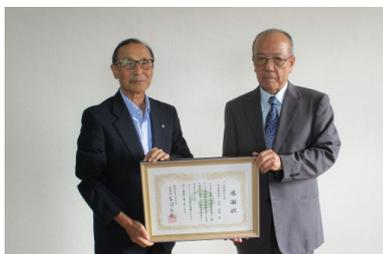
◆ 悲願の全国優勝！ ◆ バウンドテニス選手権大会



全日本バウンドテニス選手権大会が7月4日・5日に東京都で開催され、猪狩薫さん（元町在住）がミドル女子ダブルスの部で全国優勝しました。

バウンドテニスはテニスコート6分の1の広さで専用のラケット・ボールを使い誰でも楽しめるスポーツで、猪狩さんは過去にシングルス・ダブルスで20回以上全国大会に出場し、ダブルスのベスト8が最高でした。「優勝できたのは何より当別バウンドテニス協会の仲間がいたからです。いつも緊張しますが、今大会は無心でボールを返すことに集中でき、タイブレークまでもつれた準々決勝を勝って勢いがつきました。連覇を目指したいが欲を出さずにやりたい」と猪狩さんは話されていました。会員も募集しています（猪狩・☎ 22 - 3912）まで。

◆ 地域貢献活動のエル電 ◆ 株式会社へ感謝状を贈呈



エル電株式会社（札幌市）が6月25日・26日の2日間、町営春日団地内公園の草刈りなどの清掃活動に地域貢献として取り組んでいただきました。この活動に感謝し、エル電株式会社の長内豊治代表取締役役に宮司町長より感謝状を贈呈しました。

◆ 剣道全国大会 ◆ 西当別剣道少年団が出場



西当別剣道少年団は、6月16日に恵庭市で開催された予選で、見事ベスト16に進出し、全国大会への出場権を獲得。7月29日には、日本武道館で開催された「全国道場少年剣道大会」へ出場しました。全国大会では残念ながら1回戦で惜敗したものの、持てる力を全て出し切った選手たちはすっきりした表情を見せていました。

★出場は次の6人

- ・ 当別小 5年山口真一さん、6年 亀卦川佑花さん、吉田優仁さん
- ・ 西当別小 5年鈴木天翔さん、6年 棚瀬裕亜さん、須藤蒼平さん

◆ 町赤十字奉仕団が ◆ 墓地を清掃



町赤十字奉仕団（藤原美知子委員長）によるボランティア清掃活動が町内各地の墓地で行われました。お墓に供物を放置するとカラスなどの野生動物が供物を散乱させるため、お盆後に奉仕団の方が毎年清掃活動を行っています。8月21日は東裏・獅子内・中小屋墓地の清掃が行われ、この日集まったごみの量は45Lの袋で130袋もありました。

◆ 当別町総合計画の策定に ◆ 向けて審議会開催



当別町の最上位計画である新たな総合計画の策定にあたり、必要な調査および審議を行う「当別町総合計画審議会」が設置され、8月7日に第1回の審議会が役場で行われました。委員は町内外の専門分野有識者と公募の16人で構成され、会長には北海道医療大学の黒澤隆夫副学長が互選により選出されました。議題では、新たな総合計画の策定に向けた考えなどが議論され、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の内容を考慮しながら、策定していくことで確認をしました。

◆ 持続可能なまちづくりへ ◆ 立地適正化計画策定委員会



人口減少や厳しい財政の下で、公共施設、医療、福祉、商業などのサービス機能を維持し、持続可能なコンパクトなまちづくりへの転換を図る目的で「当別町立地適正化計画策定委員会」が設置され、8月8日に第1回の委員会が役場で行われました。委員は町内外の専門分野有識者12人で構成され、委員長には北海道医療大学の黒澤隆夫副学長が互選により選出されたほか、策定の目的などを確認。今年度末を目標に、立地適正化計画の策定を行う予定です。